

令和7年3月21日
土木部地域交通課

コミュニティバスしおかぜ実証運行の継続について

コミュニティバスしおかぜは、区内南部地域における交通不便地域の解消を図り、高齢者等の交通手段を確保するために、平成17年11月から潮見を起終点として木場、辰巳方面へ運行を開始した。

辰巳ルートの利用が低迷していたため、利用率向上を目指し、利用者アンケートの調査結果等を踏まえ、令和6年4月から豊洲ルートを加える実証運行を開始した。

1 現状

令和5年度各月と令和6年度（実証運行期間）の同月の乗客数は、以下の表のとおり、概ね微増傾向である。

乗客数(人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和5年度	6,503	6,850	6,969	7,366	7,530	7,159	7,143	6,761	7,136
令和6年度	6,598	6,685	6,749	7,691	8,099	7,430	7,529	6,867	7,716
対前年同月比	1.01	0.98	0.97	1.04	1.08	1.04	1.05	1.02	1.08

令和6年10月の「コミュニティバスしおかぜのアンケート」によるルート別集計では、木場ルート445名に対して、豊洲ルートが112名、辰巳ルートが120名とほぼ同数であった。

さらに、ルート評価では、豊洲ルートの増便希望が41.6%で最多である一方、辰巳ルートの増便希望は12.6%であった。

また、「新たな交通システム導入に向けた検討について（中間報告）」では、辰巳・潮見地区が13区域中2番目に導入効果の高い地域となり、コミュニティバスが運行されているにも関わらず、未だに地域公共交通改善の要望がある結果となった。

2 今後の検討事項等

現時点で豊洲ルートには潜在的な需要があるにも関わらず、十分な利用実績が伴っておらず、1年間の実証運行では、豊洲ルートの本格運行への移行等について判断するための明確な結果が得られなかった。



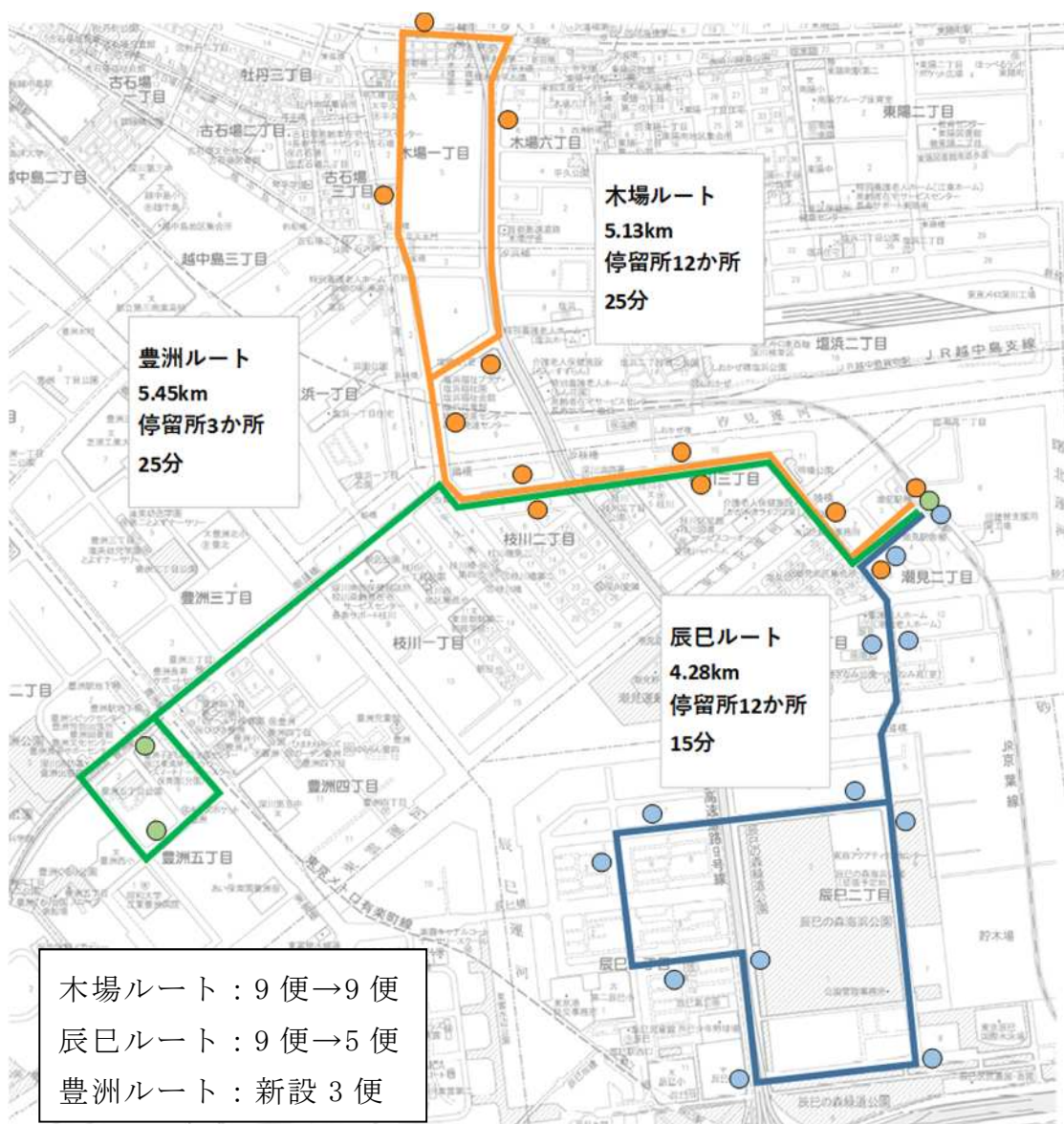
- (1) 令和7年度も実証運行を継続し、利用者増に向けた周知
- (2) コミュニティバスしおかぜを利用しない人の意見を分析



上半期の利用実績と利用者アンケート結果等を踏まえ、改めて今後の対応について検討

別紙

令和6年度 コミュニティバスしおかぜ運行ルート



〈時刻表〉

ルート	主要停留所	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便
木場 ルート	潮見駅	9:00	9:50	10:50	11:40	13:30	14:20	15:20	16:10	17:00
	潮見駅（着）	9:25	10:15	11:15	12:05	13:55	14:40	15:45	16:35	17:25
辰巳 ルート	潮見駅	9:25		11:15		13:55		15:45	16:35	
	潮見駅（着）	9:40	↓	11:30	↓	14:10	↓	16:00	16:50	
豊洲 ルート	潮見駅		10:15		12:05		14:45			
	潮見駅（着）		10:40		12:30		15:10			